

津市議会議員

龍神啓介

議会レポート Vol.1

市政一般質問のピックアップ（初質問～令和元年9月議会）

◎ 時代に合わせた教育の推進について

【龍神】新学習指導要領が2020年から始まる。なかでもプログラミング教育や小学校における英語教育の開始はトピックである。ただし、その実効性には疑問符がつく。前者については教科横断的に行われるが、カリキュラムマネジメントはしっかりできているか。また教師の力量のばらつきをどう考えるか。生徒が興味をもてるような授業を行うべきであると考えがどうか。また、最前線で活躍する人材を呼ぶなどの工夫が必要である。

【教育委員会】教科書は現在採択中なので、教科書の内容を吟味した上で各科目でプログラミング教育が効果的に進められるよう検討していく。また、プログラミングの研修を行なっているので、学校内で共有できるようにしたい。

◎ スマート自治体を目指して

【龍神】人間の代わりに自動的に自治体の業務を行うスマート自治体の取り組みについて、三重県は6月補正予算（2019年度）で、スマート自治体促進事業としての予算を計上した。県の動きをうけて本市においては、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を利用した効率化を図っていく意思があるか。また、その有効性をどのように捉えているか。

【総務部長】先進的な取り組みを行っている自治体の事例等を確認すると、RPAの導入後、従来までと比較して、作業時間の短縮の成果などがあつたと報告されている。しかしながら、市によっては電算システムの運用などの状況が異なっており、他市においては、RPAで行うと成果が期待できるような大量データの一括入力作業、これらについては、本市においては既に外部委託で行っている状況があるので、直接的にはRPAの導入効果が期待できないところもある。RPAについてはまだまだ全国的にも実証実験の段階にあり、今後については、令和4年から新しく始まる基幹情報システムの更新が令和2年、3年に行われる。進捗状況、更新作業を見据え、県や他市の動向も注視しつつ、本市の業務プロセスをしっかりと把握し、確実に費用対効果が見込めるように、効果的かつ効率的に導入していく。

◎ 久居アルスプラザ供用開始を見据えた、地域の活性化について

【龍神】久居アルスプラザ竣工にあたって、久居駅と久居アルスプラザ間の市街地にコンパクトで賑わいのある街を再興することはできないか。このような観点から見ると、地域の様々なニーズや課題に対応するエリアマネジメントの考え方が理に適う。日本版 BID 制度など国の法整備を勘案するのは当然、行政としてどのように地域活性化に関わっていくのか。

【文化振興担当理事】久居アルスプラザの供用開始にともない、久居駅の乗降客の増加が見込まれる。利用者の食事、買い物、休憩の場として商店街を回遊していただけるように、施設と地域との相互の動線に配慮することで、商店街の賑わいを図ることができると考えている。そのために、久居商店連盟との間に意見交換会を行い、また、今後検討会の立ち上げを考えている。（2018年9月議会当時）

◎ 保育所入所選考にAIの活用を

【龍神】保育所の入所選考の作業は時間、人員ともに多くのリソースを費やして行われる。そこで、AIを活用すれば、作業の軽減のみならず、利用者希望の最適化を図れると考える。全国では、すでに実証実験をはじめている自治体もある。本市における導入の是非を問う。

【こども政策担当理事】本年度に導入した草津市、あるいは来年度実証実験を行う桑名市から聞き取りを行った。事務の効率化とともに調整結果の迅速化を図れるシステムということで、大変期待をしている。しかしながら、特別な支援が必要な子どもなどの利用調整、これは別途いろいろ必要な対応があるともお聞きしている。まず近いところで、桑名市も実証実験に入っているため、結果に対する課題や評価の情報収集を収集し、システム等に関する費用をしっかりと整理をし、導入について考えていく。

【その他の質問】・家具転倒防止対策について
・中学校における内申点のばらつきについて
・証明書のコンビニ交付について
・コミュニティスクールの全校設置について
・学校運営における業務改善について など

市政一般質問関連のトピックス

新学習指導要領のポイント

新学習指導要領の施行により外国語教育が3・4年生から開始され、5・6年生では英語が教科化されます。また、各学校が、学習指導要領に基づき、教科横断的に教育内容を編成し実施・改善していくことを「カリキュラム・マネジメント」と呼び、重視しています。加えて、いわゆる「アクティブ・ラーニング」の視点を「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」として、重視する姿勢が明確にされています。

スマート自治体とは

「スマート自治体」の推進が政策テーマとしてとりあげられることが多くなっています。「スマート自治体」とは、事務作業などをAI等で代替することによって、職員がより価値のある業務に注力できるような体制をとる自治体のことです。さまざまなアイデアが考えられますが、効率化・省力化を実現することが目的です。一般質問でとりあげた「RPA」とは、Robotic Process Automationの頭文字を取ったもので、なんらかの紙の申請用紙からコンピュータへ自動入力を行うなど、ロボットやソフトを使って業務を自動化することを指します。

証明書のコンビニ交付サービスがスタート

津市においても、証明書等のコンビニ交付サービスが、令和2年3月1日より始まります。コンビニ交付サービスを利用するためには、マイナンバーカードを取得していただく必要があります。マイナンバーカードを使用してコンビニ等のキオスク端末を操作し、希望する証明書を申請します。そこで、証明書交付サービスを選択し、所定の場所にマイナンバーカードをかざした上で、カード交付時に設定した4桁の暗証番号を入力し、本人確認をおこない、住民票の写し、戸籍証明書、所得課税証明書等の種別を選択、世帯全員分・本人分等の交付種別や記載事項を選択し、発行となります。

家具転倒防止の補助について

津市では現在、市民の皆様に住宅の家具の転倒防止対策を普及することにより、地震による被害の軽減に資するため、固定金具の配付および取り付けを支援する啓発事業を実施しています。補助金の詳細は津市のHPのリンクまで↓
<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1489392251663/index.html>

プロフィール

龍神 啓介（りゅうじん けいすけ）

昭和62年4月11日生

紀北町紀伊長島出身、津市久居野村町在住

三重大学教育学部附属小中、津高校を経て、慶應義塾大学法学部政治学科を卒業。会社員、議員秘書を経て、現在、津市議会議員（1期目）。教育と福祉の先進自治体を目指しています。また、まちづくりや経済活動については、各プレイヤーが自由に動くことができる体制を重要視しています。

連絡先

龍神けいすけ後援会

〒514-1113

津市久居野村町 874-28

電話：059-256-1509

FAX：059-256-1509

HP：https://keisukeryujin.com

メール：info@keisukeryujin.com

